様式2

社会資本総合整備計画
「上石第一地区都市再生整備計画」
【平成31～令和5年度】
事後評価シート

・上石第一地区都市再生整備計画事業【平成31年度～令和5年度】

令和6年12月

埼玉県熊谷市

様式２－１　評価結果のまとめ

都道府県名	埼玉県	市町村名	熊谷市	地区名	上石第一地区
交付期間	平成31年度～令和5年度	事後評価実施時期	令和6年度	交付対象事業費	411百万円

1）事業の実施状況

		事業名
当初計画に位置づけ、実施した事業	A基幹事業	（市街地整備事業）上石第一地区都市再生区画整理事業
	B関連社会資本整備事業	なし
	C効果促進事業	なし

		事業名	削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響
当初計画から削除した事業	A基幹事業	なし	－	－
		なし	－	－
	B関連社会資本整備事業	なし	－	－
	C効果促進事業	なし	－	－
新たに追加した事業	A基幹事業	なし	－	－
	B関連社会資本整備事業	なし	－	－
	C効果促進事業	なし	－	－

交付期間の変更	当　初	平成31年度～令和5年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	－
	変　更	なし		

2）社会資本総合整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況

指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値 モニタリング	数値 評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み		効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
指標1	定住人口	人	593	H31	620	R5	－	622	○	あり	－	土地区画整理事業における宅地化が進み、戸建て住宅が新築されたことなどから、居住者数は622人となり、目標値を達成した。	－
										なし	－		
指標2	まちづくり活動実施回数	回/年	3	H31	4	R5	－	1	×	あり	－	清掃活動（1回）を実施したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、全体的にイベントの回数が限定された。また、「密」につながる屋内でのイベントが制限された影響もあり、屋内での勉強会等は実施できなかったため、実施回数は1回となり、目標値を達成できなかった。	R7
										なし	－		

3）その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況

指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値 モニタリング	数値 評価値	目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
その他の数値指標1	－	－	－	－			－	－			－	－

4）定性的な効果発現状況

・街路築造のほか、地域住民の要望を受け、LED防犯灯の設置を進め、道路環境の安全性・快適性が向上した。自治会長が選出する「環境美化推進員」の運用により、街路の美化・清掃活動や、民有地の緑化指導等が進み、住環境の快適性が向上した。土地区画整理事業による計画的な都市基盤施設の整備により、良好な住宅地が形成されたことで、新たな若い世帯が増加し、子どもも増えて、まちがにぎやかになった。

5）実施過程の評価

	実施内容	実施状況		今後の対応方針等
モニタリング	－	実施した		－
		実施しなかった	●	
住民参加プロセス	－	実施した		－
		実施しなかった	●	
持続的なまちづくり体制の構築	－	実施した		－
		実施しなかった	●	

様式２－２　地区の概要

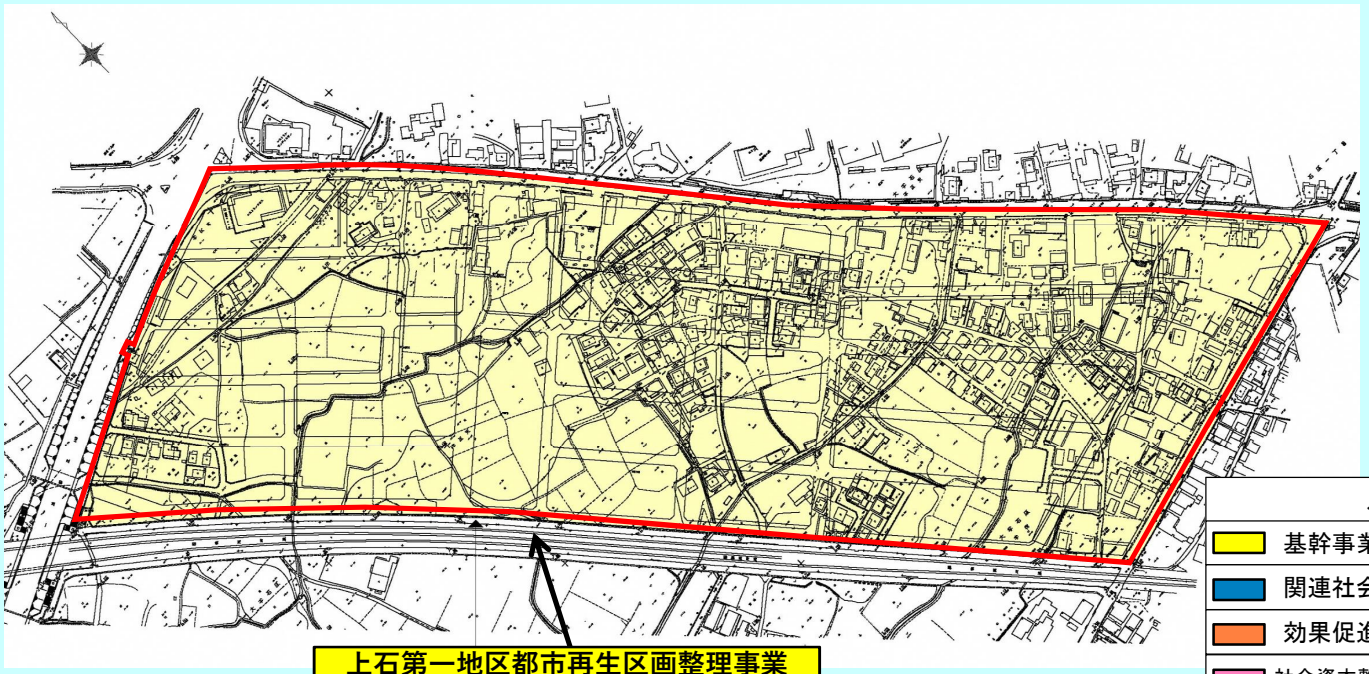
上石第一地区（埼玉県熊谷市）　社会資本総合整備計画の成果概要								
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標：地域住民による安全・安心・快適なまちづくり 目標１：　都市基盤整備による住環境の快適性の向上を図る。 目標２：　地域住民主体のまちづくりを図る。	定住人口	単位：人	593	H31	620	R5	622	R5
	まちづくり活動実施回数	単位：回／年	3	H31	4	R5	1	R5
	－	単位：　－	－	－	－	－	－	－
	－	単位：　－	－	－	－	－	－	－
	－	単位：　－	－	－	－	－	－	－



調整池（整備前）



調整池（整備後）



まちの課題の変化	東部の道路や調整池、公園等の公共施設を中心に未整備箇所が多かったが、土地区画整理事業における計画的な都市基盤施設の整備により、良好な住宅地が形成された。 また、新型コロナウイルス感染症により日常生活において「密」に配慮することや、衛生面の意識向上等の「生活様式の意識変化」が起こり、地域活動の内容が多様化している。 今後も自治会活動を通じた継続的なイベントの開催等により、地域交流の輪を広げていく必要がある。
今後のまちづくりの方策 （改善策を含む）	良好な居住環境の向上や維持として、土地区画整理事業により、新たな道路や公園等の都市基盤施設を整備する。また、地域住民による水路や公園等の維持管理を実施する。 新型コロナウイルス感染症による「生活様式の意識変化」は、今後も継続することが想定される。地域の交流活動を活性化させるため、「密」を避けたイベントを推進する。 また、事業前からの住民と新たな住民との交流活動や、幅広い世代を対象とした、多様な交流活動（美化や防災、防犯等、地域住民が興味を持ちやすいテーマのイベント）を推進する。

（1）成果の評価

添付様式1－①　社会資本総合整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●	－	－	－
B. 目標を定量化する指標		●	－	－	－
C. 目標値		●	－	－	－
D. その他（　　）		●	－	－	－

添付様式１－②　社会資本総合整備計画に記載した事業の実施状況（事業の追加・削除を含む）

A　基幹事業

単位：百万円

事業種別	事業分類	事業名	当初計画 事業費	当初計画 事業内容	最終変更計画 事業費	最終変更計画 事業内容	当初計画からの変更の概要 ※1（事業の削除・追加を含む）	都市再生整備計画に記載したまちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況 完成	事後評価時の完成状況 完成見込み
都市再生整備計画事業	道路	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	公園	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	河川	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	下水道	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	駐車場有効利用システム	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	地域生活基盤施設	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	高質空間形成施設	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	高次都市施設	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	既存建造物活用事業	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	都市再生交通拠点整備事業	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	土地区画整理事業（都市再生）	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	住宅市街地総合整備事業	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	地区再開発事業	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	バリアフリー環境整備事業	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	優良建築物等整備事業	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	住宅市街地総合整備事業	－	－	－	－	－	－	－	－	－

	街なみ環境整備事業	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	住宅地区改良事業等	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	都心共同住宅供給事業	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	公営住宅等整備	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	都市再生住宅等整備	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	防災街区整備事業	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	地域創造支援事業	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	事業活用調査	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	まちづくり活動推進事業	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	合計	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

A 基幹事業

単位：百万円

事業種別	事業分類	事業名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの変更の概要 ※1（事業の削除・追加を含む）	都市再生整備計画に記載したまちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
			事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
都市再生区画整理事業	都市再生事業計画案作成事業	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	都市再生土地区画整理事業	上石第一地区都市再生区画整理事業	－	－	411	13.5ha	－	－	－	●
	被災市街地復興土地区画整理事業	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	緊急防災空地整備事業	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	合計	－	－	－	411	13.5ha	－	－	－	－
合計		－	－	－	411	13.5ha	－	－	－	－

※1：事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

B 関連社会資本整備事業

事業	細項目	当初計画 事業費	当初計画 事業内容	最終変更計画 事業費	最終変更計画 事業内容	当初計画からの変更の概要 ※1（事業の削除・追加を含む）	都市再生整備計画に記載したまちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況 完成	事後評価時の完成状況 完成見込み
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

※1：事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

C 効果促進事業

事業	細項目	当初計画 事業費	当初計画 事業内容	最終変更計画 事業費	最終変更計画 事業内容	当初計画からの変更の概要 ※1（事業の削除・追加を含む）	都市再生整備計画に記載したまちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況 完成	事後評価時の完成状況 完成見込み
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

※1：事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

（参考）その他関連事業

単位：百万円

事業	細項目	事業箇所名	事業費 当初計画	事業費 最終変更計画	事業期間 当初計画	事業期間 最終変更計画	進捗状況及び所見	備考
－		－	－	－	－	－	－	－
－		－	－	－	－	－	－	－

添付様式2－①　社会資本総合整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標		単位	データの計測手法と評価値の求め方（時期、場所、実施主体、対象、具体手法等）	（参考）※1 計画以前の値（ア）	基準年度	従前値（イ）	基準年度	目標値（ウ）	目標年度	数値（エ）				目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無	
																あり	なし
指標1	定住人口	人	住民登録者数のデータを用いて、令和6年4月1日時点での地区居住者数を評価値とする。	455	H21	593	H31	620	R5	モニタリング	－		－	モニタリング	－	－	－
										事後評価	確定	●	622	事後評価	○		
											見込み						
指標2	まちづくり活動実施回数	回/年	令和5年度のまちづくり活動（勉強会や交流イベント）の実施回数を評価値とする。	－	－	3	H31	4	R5	モニタリング	－		－	モニタリング	－	－	－
										事後評価	確定	●	1	事後評価	×		
											見込み						
指標3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	モニタリング	－		－	モニタリング	－	－	－
										事後評価	確定 見込み	－	－	事後評価	－		
指標4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	モニタリング	－		－	モニタリング	－	－	－
										事後評価	確定 見込み	－	－	事後評価	－		
指標5	－	－	－	－	－	－	－	－	－	モニタリング	－		－	モニタリング	－	－	－
										事後評価	確定 見込み	－	－	事後評価	－		

指標	目標達成度○△×の理由（達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む）	その他特記事項（指標計測上の問題点、課題等）
指標1	土地区画整理事業における宅地化が進み、戸建て住宅が新築されたことなどから、居住者数は622人となり目標値を達成した。	－
指標2	清掃活動（1回）のみの実施となり、令和5年度のまちづくり活動実施回数は1回となったため、目標値を達成できなかった。	新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、全体的にイベントの開催が制限された。また、「密」につながる屋内でのイベントが制限されたため、屋内での勉強会や交流イベントは実施できなかった。
指標3	－	－
指標4	－	－
指標5	－	－

※1　計画以前の値　とは、都市再生整備計画の作成より以前（概ね10年程度前）の値のことをいう。
※2　目標達成度の記入方法
○：評価値が目標値を上回った場合
△：評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合
×：評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2－②　その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現の計測

指　標		単位	データの計測手法と評価値の求め方（時期、場所、実施主体、対象、具体手法等）	（参考）※1 計画以前の値（ア）	基準年度	従前値（イ）	基準年度	数値（ウ）			本指標を取り上げる理由	その他特記事項（指標計測上の問題点、課題等）
その他の数値指標1	－	－	－	－	－	－	－	モニタリング	－	－	－	－
								事後評価	確定 －			
									見込み －			
その他の数値指標2	－	－	－	－	－	－	－	モニタリング	－	－	－	－
								事後評価	確定 －	－		
									見込み －			
その他の数値指標3	－	－	－	－	－	－	－	モニタリング	－	－	－	－
								事後評価	確定 －	－		
									見込み －			

※1　計画以前の値　とは、都市再生整備計画の作成より以前（概ね10年程度前）の値のことをいう。

添付様式2－参考記述　定量的に表現できない定性的な効果発現状況

・街路築造のほか、地域住民の要望を受け、LED防犯灯の設置を進め、道路環境の安全性・快適性が向上した。
・自治会長が選出する「環境美化推進員」の運用により、街路の美化・清掃活動や、民有地の緑化指導等が進み、住環境の快適性が向上した。
・土地区画整理事業による計画的な都市基盤の整備により、良好な住宅地が形成されたことで、新たな若い世帯が増加し、子どもも増えて、まちがにぎやかになった。
　現在、転入者に自治会へ加入してもらうための調整が行われており、今後の交流活動の更なる活性化が期待される。

（2）実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式３－①　モニタリングの実施状況

実施した内容	実施状況		実施時期・実施結果	今後の対応方針等
－	実施した	－	－	－
	実施しなかった	●		

添付様式３－②　住民参加プロセスの実施状況

実施した内容	実施状況		実施時期・実施結果	今後の対応方針等
－	実施した	－	－	－
	実施しなかった	●		
－	実施した	－	－	－
	実施しなかった	－		

添付様式３－③　持続的なまちづくり体制の構築状況

実施した内容	構築状況		実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
			ⅰ．体制構築に向けた取組内容	ⅱ．まちづくり組織名：組織の概要	
－	実施した	－	－		－
	実施しなかった	●			
－	実施した	－	－		－
	実施しなかった	－			

（3）効果発現要因の整理

添付様式4－①　効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
事後評価　庁内検討会議	市民部　　安心安全課 建設部　　管理課、維持課 上下水道部　下水道課 都市整備部　都市計画課、公園緑地課	令和6年10月24日	熊谷市土地区画整理事務所

添付様式4－②　数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1		－		－		－	
指　標　名		定住人口		－		－		－	
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見		
A基幹事業	（市街地整備事業）上石第一地区都市再生区画整理事業	◎	土地区画整理事業による計画的な都市基盤施設の整備により、良好な住宅地の形成や街路築造による道路環境の向上が進んだことで、戸建て住宅の新築や新たな若い世帯が増加した。よって、定住人口が増加し目標を達成した。						
B関連社会資本整備事業									
C効果促進事業									
その他関連事業									

※指標改善への貢献度
◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
○：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
△：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
－：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	土地区画整理事業の事業完了を目指すとともに、事業完了区域における生活環境の維持・向上に取り組む。			

添付様式４－③　数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標2			－			－			－		
指　標　名		まちづくり活動実施回数			－			－			－		
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
A基幹事業	（市街地整備事業）上石第一地区都市再生区画整理事業	△	清掃活動（1回）を実施したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、「密」につながる屋内でのイベントが制限された影響もあり、屋内での勉強会等は実施できなかったため、実施回数は1回となった。 よって、目標値を達成できなかった。	Ⅲ									
B関連社会資本整備事業													
C効果促進事業													
その他関連事業													

※目標未達成への影響度
××：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
×：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
△：数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
－：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類
分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因。
分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因。
分類Ⅲ：外的な要因で、予見が不可能な要因。
分類Ⅳ：内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針（記入は必須）	地域の交流活動を活性化させるため、「密」に配慮したイベントを推進する。 また、事業前からの住民と新たな住民との交流活動や、幅広い世代を対象とした、多様な交流活動（美化や防災、防犯等、地域住民が興味を持ちやすいテーマのイベント）を推進する。			

（4）今後のまちづくり方策の作成

添付様式5－①　今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
事後評価　庁内検討会議	市民部　　安心安全課 建設部　　管理課、維持課 上下水道部　下水道課 都市整備部　都市計画課、公園緑地課	令和6年10月24日	熊谷市土地区画整理事務所

添付様式5－②　まちの課題の変化

事業前のまちの課題	達成されたこと（課題の改善状況）	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
土地区画整理事業により、都市基盤整備を進めているが、東部を中心に未整備箇所が多く、都市基盤整備による、安心して暮らせる優良な住宅地の整備が必要である。 特に、居住者の生活に必要な路線を優先に、整備を促進する必要がある。	土地区画整理事業における計画的な都市基盤施設の整備や、地域住民による活動により、良好な住宅地が形成され、道路環境の安全性・快適性が向上した。	－	―
新たな住民を含めた地域住民の多様な活動の活性化を促進する必要がある。	一部実施できなかった活動もあるが、継続的なイベントの開催により、地域交流が行われている。	新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、「密」につながる屋内でのイベントが制限された影響もあり、屋内での勉強会等は実施できなかった。そのため交流活動の推進や多様な実施方法を見据えた検討が必要である。	
－	－	－	
－	－	－	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5－③　今後のまちづくり方策

	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
A欄 効果を持続させるため に行う方策	良好な居住環境の向上、維持	・土地区画整理事業により、新たな道路や公園等の都市基盤施設を整備する。 ・地域住民による水路や公園等の維持管理を実施する。	・道路、公園、水路、調整池の整備 ・施設の定期的な点検・整備
	－	－	－
	－	－	－

	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
B欄 改　善　策	地域の交流活動の活性化	・地域の交流活動を活性化させるため、「密」に配慮したイベントの推進。 ・幅広い世代を対象とし、美化や防災、防犯等、地域住民が興味を持ちやすいようなテーマを設定し、多様な交流活動を推進する	・交流活動への支援体制づくり ・防災訓練の実施 ・学童擁護員による見守り活動 ・花の種や苗木の配布
	－	－	－
	－	－	－

フォローアップ又は次期計画等において実施する改善策を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5－③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。（チェック欄）

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題（都市再生整備計画）を再確認した。
●	事業の実施過程の評価（添付様式3）を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用（添付様式4－②）を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針（添付様式4－③）を再確認した。
●	残された課題や新たな課題（添付様式5－②）を再確認した。

添付様式5－参考記述　今後のまちづくり方策に関するその他の意見

なし

添付様式５－④　目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式２－①、２－②に記載した全ての指標について記入して下さい。
・従前値、目標値、評価値、達成度、１年以内の達成見込みは添付様式２－①、２－②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、１年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指　標		単位	従前値	年度	目標値	年度	評価値			目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画 予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	定住人口	人	593	H31	620	R5	確定	●	622	○	あり	－	－	－	－
							見込み				なし	－			
指標2	まちづくり活動実施回数	回/年	3	H31	4	R5	確定	●	1	×	あり	－	R7	自治会事業報告書を確認するとともに、自治会長にヒアリングを行う。	－
							見込み				なし	－			
指標3	－	－	－	－	－	－	確定		－		あり		－	－	－
							見込み				なし				
指標4	－	－	－	－	－	－	確定		－		あり		－	－	－
							見込み				なし				
指標5	－	－	－	－	－	－	確定		－		あり		－	－	－
							見込み				なし				
その他の数値指標1	－	－	－	－			確定		－				－	－	－
							見込み								
その他の数値指標2	－	－	－	－			確定		－				－	－	－
							見込み								
その他の数値指標3	－	－	－	－			確定		－				－	－	－
							見込み								

添付様式6　当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	土地区画整理事業における宅地化が進み、戸建て住宅が新築されたため、居住者数は622人となり指標1の目標値を達成した。	地域の交流活動を活性化させるため、「密」に配慮したイベントの推進や、美化や防犯等、地域住民が興味を持ちやすいようなテーマを設定し、多様な交流活動を推進する。
	うまく いかなかった点	コロナウイルス感染症拡大防止策として、「密」につながる屋内でのイベントが制限されたため、屋内での勉強会や交流イベントは実施できず、まちづくり活動実施回数は1回となり目標値を達成できなかった。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	–	–
	うまく いかなかった点	–	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	–	–
	うまく いかなかった点	–	
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	土地区画整理事業を行う中で、5年ごとに第三者による検証、住民公表のある事後評価を実施することで、事業の効果や進捗を客観的に確認しながら進めることができている。	–
	うまく いかなかった点	–	
その他	うまくいった点	–	–
	うまく いかなかった点	–	

添付様式6－参考記述　今後、交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称（当該地区の次期計画も含む）

なし

（5）事後評価原案の公表

添付様式7　事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに掲載	令和6年11月25日（月）～ 令和6年12月8日（日）	令和6年11月25日（月）～ 令和6年12月8日（日）	担当課へ 持参、郵送、FAX、電子メール	熊谷市土地区画整理事務所
広報掲載・回覧・個別配布	―	―	―		
説明会・ワークショップ	―	―	―		
その他	熊谷市土地区画整理事務所 窓口で閲覧	令和6年11月25日（月）～ 令和6年12月8日（日）	令和6年11月25日（月）～ 令和6年12月8日（日）		

住民の意見	意見なし

（6）評価委員会の審議

添付様式8　評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	熊谷市開発審査会委員	第1回：令和6年8月29日 第2回：令和6年12月20日	熊谷市土地区画整理事務所	熊谷市上石第一地区都市再生整備計画事後評価委員会設置要綱	独自に設置
その他の委員	上石第一地区土地区画整理審議会 会長 上石第一地区土地区画整理審議会 会長職務代理者				

審議事項		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	妥当である。
	成果の評価	妥当である。
	実施過程の評価	妥当である。
	効果発現要因の整理	妥当である。 【指標2について】 これまでまちづくり活動を行ってきた方のうち、既に亡くなった方も多い。また、活動を行う場所もない状況であり、今までのように活動を行うこと自体が難しいのではないか。また、事業後は換地により、隣に住む方が顔見知りでない方々もいる。防犯活動を熊谷市土地区画整理事務所が主導して行う、もしくは土地区画整理事業が完了したタイミングで自治会を一つにする、防犯パトロール等の活動と抱き合わせて他の活動を行うなど、新たな活動の具体的な方法について、今後要検討である。
	事後評価原案の公表の妥当性	妥当である。
	その他	妥当である。
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	妥当である。

今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	妥当である。 【指標2について】 防災訓練については、市の補助金等が出ることが多い一方で、その手続きは非常に手間がかかる。そのあたりを事務所が支援することができれば、自治会としては活動しやすくなると思う。
	フォローアップ	妥当である。
	その他	妥当である。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	妥当である。
その他		妥当である。